

令和4年度農林水産省調達改善計画の上半期自己評価（概要）

1. 重点的な取組

(1) 一者応札（応募）の改善について

- ① 国有林野の管理運営について、他の調達分野に比べ、一者応札の割合が高いことから、一者応札の改善に向けた取組として、役務調達のうち素材生産事業の分野において、競争性向上のため、電子入札を検討・実施した（実績 353件／358件）
- ② 競争性を向上させるため、令和5年度契約に向けた発注予定業務事前説明会を、業務内容、発注スケジュールがより詳細となる下半期に実施する。

(2) 随意契約における価格交渉の推進

令和4年度上半期においては、契約の相手方が特定される調達案件（特命随意契約）で、価格交渉による効果が見込まれる案件がなかったため、引き続き、価格交渉が可能な案件があった場合には、積極的に取り組む。

2. 共通的な取組

(1) 調達改善に向けた審査・管理の充実

- ① 一者応札となった案件について、事業者に対してアンケート調査等を実施し、次回の調達に向けての改善策の検討を行った。（実績 1,261件）
- ② 一者応札（応募）となった案件について、外部委員により構成される入札等監視委員会において、次回の調達に向けての改善策等について審議を行った。（実績 202件）
- ③ 一者応札になった案件について、会計担当職員によって構成される入札・契約手続審査委員会において事前審査を実施し、改善策が反映されているかの確認等を行った。（実績 883件）

(2) 調達事務のデジタル化の推進

地方農政局等会計課長等会議及びメール連絡により、以下について周知した。

- ・電子調達システムを利用していない官署への導入促進
- ・電子調達システムの導入、電子契約の利用促進等の声かけなど、事業者側への普及啓発について協力依頼
- ・省内の優良事例を共有

- ・内閣官房行政改革推進本部事務局主催の GEPS 勉強会資料、政府調達（公共事業を除く）手続の電子化推進省庁連絡会議専門部会（第 47 回）及びシステム設計WG（第 68 回）資料の周知

(3) 電力調達、ガス調達の改善

- ① 電力調達について、再生可能エネルギー（RE）比率 30% 以上を導入するため、47 官署で一般競争入札を行った結果、25 官署で RE30 を導入した。
また、新たに 4 官署において、一般競争入札による調達を行った。そのほか、3 官署でこれまで庁舎単位で調達していたものを複数庁舎でまとめて一括調達を行った。
- ② ガス調達について、一般競争未実施の官署において、その実施可能性を検討した。